

鶴見岳・伽藍岳における火山砂防の取組



■大分県における火山の概要

大分県内には、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、九重山の3つの火山があります。なかでも、鶴見岳・伽藍岳及び九重山は、常時観測火山に選定されています。



■鶴見岳・伽藍岳の概要

温泉のまちとして有名な別府市。その市街地背後には、南北5kmにわたり溶岩ドームが連なっています。鶴見岳はその南端に、伽藍岳はその北端に位置しています。

鶴見岳山頂北側には噴気孔（地獄谷赤池噴気孔）があり、また伽藍岳には強い噴気活動があります。火山群のふもとの扇状地には、日本有数の温泉地である別府温泉群が広がっています。特に、山地との境界部には多数の沸騰泉・噴気孔等が分布し、地中から吹き出る熱湯、熱泥、噴気などを間近で見られるスポットがあり、べっぴん地獄めぐりは国内外の観光客の人気を集めています。また、鶴見岳・伽藍岳の一部は、阿蘇くじゅう国立公園に指定されており春のミヤマキリシマや冬の霧氷など四季折々の景観を楽しませてくれます。



伽藍岳噴気孔

▲ 伽藍岳

～火山活動の状況～

鶴見岳・伽藍岳の火山活動は、約4万年より前から始まりました。これまでの主な活動時期は、約29,000年前から約7,300年前の間で、溶岩の噴出を伴う噴火が繰り返し発生しています。伽藍岳も、約1万年前より少し古い時代に誕生したと推定されています。約7,300年前以降の噴火としては、それまでの噴火に比べ規模は小さいですが、約1,800年前に鶴見岳山頂付近で爆発的な噴火が発生し、伽藍岳では、西暦711年と867年に水蒸気噴火が発生しています。

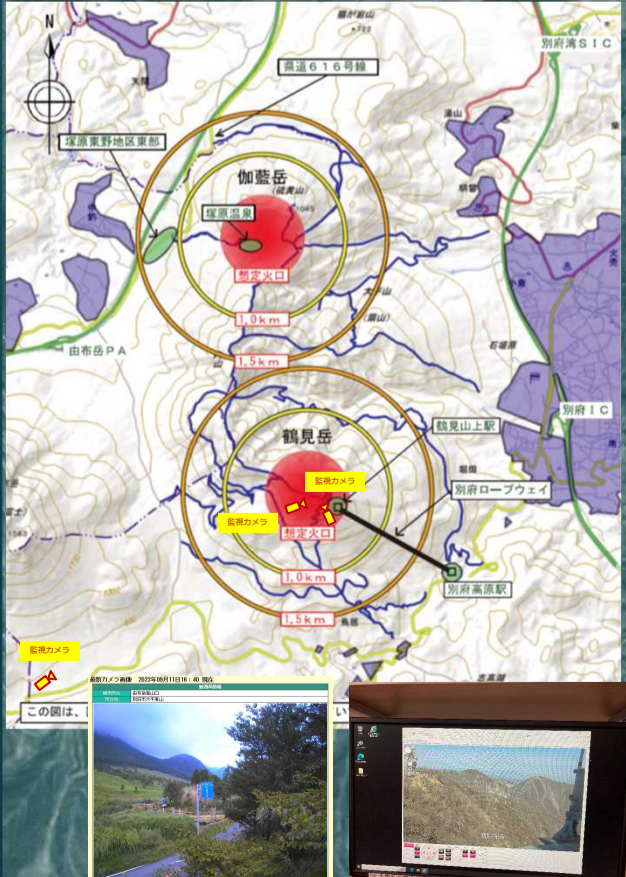


赤池噴気孔

▲ 鶴見岳

■ソフト対策の状況

鶴見岳・伽藍岳の火山活動を監視カメラで監視しています。



■火山の近況と令和4年度のとりくみ

2022. 7. 8 | 伽藍岳 噴火警戒レベル1→2

噴火警戒レベル初の「2」
鶴見岳・伽藍岳で地震多発

別府市消防局は、別府市消防局管内の火山活動監視カメラで、伽藍岳の噴火警戒レベルを1から2に引き上げました。これは、令和4年7月8日、伽藍岳の噴火警戒レベルが初めてレベル2に引き上げられました。山体付近の浅い所を震源とする地震が一時的に増加しましたが、噴気や地熱域に特段の変化はありませんでした。

令和4年7月27日
噴火警戒レベル1へ引き下げられました。

2022.7.9大分合同新聞より

噴火警戒レベル	火山活動の状況	住民や登山者の行動
5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する予見	危険な地域からの避難
4 高部者再避難	重大な被害を及ぼす噴火が発生する予見	避難準備、高齢者ら避難所への避難
3 入山規制	居住地域の近くに噴火の予見	今後の活動に注意、登山禁止、入山規制
2 火口周辺規制	火口周辺に影響	通常の生活、火口周辺の立ち入り規制
1 活火山であることに留意	火山活動は静穏	通常の生活

県内の交通事情

7日	本年累計	前年同期
作数	11 1331 1105	
死亡	0 14 19	
負傷	15 1395 1322	

2022. 11. 8 鶴見岳 赤池噴気孔調査

噴火の兆候なし
別府市消防局が赤池噴気孔調査

九州にある雲仙普賢岳の噴火活動を機に、身近な火山への監視を行うため、別府市消防局が事務局となり、毎年赤池噴気孔の現地状況を確認しています。

～主な参加機関～
別府市消防本部
福岡管区気象台
大分地方気象台
大分県
別府警察署
大分大学
京都大学

2022.11.15大分合同新聞より 一部加工

2022. 11. 18 ふれあい砂防教室



2022. 12. 22 令和4年度火山噴火緊急減災対策砂防計画ワーキング



緊急減災計画の実行性向上や関係機関の役割分担の確認を目的としたWGを平常時から開催し、関係機関間で課題を共有するとともに、課題解決に向けた調整を継続的に行っています。さらに、「平常時からの準備事項」についてもWGを活用しながら効率的に実施できる体制を構築して取り組んでいます。